

<p>【技術の名称】 イシジプラス工法 -先端翼付き回転貫入鋼管くい工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第19-11号 性能証明発効日：2019年9月24日</p> <p>【取得者】 株式会社E・Eフロンティア</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【技術の概要】

本技術は、鋼管の先端に2枚の半円形状の翼を取り付け、回転貫入装置を備えたくい打ち機によって鋼管を回転させて地盤中に貫入し、これをくいとして利用する技術である。本工法の地盤から決まる押込み方向の鉛直支持力については、国土交通大臣の認定：TACP-0591, 0592 (2019年9月24日)、および一般財団法人日本建築総合試験所の性能評価：GBRC 建評-19-231A-001, 002 (2019年7月23日)を取得しており、この性能証明は、本技術により設計・施工されたくいの地盤から決まる引抜き方向の支持力に関するものである。

【技術開発の趣旨】

本技術は、一つのくい径に対し複数の翼径仕様を用意し、設計荷重に応じた合理的な設計を可能としている。また、くい軸部と翼部にそれぞれ二カ所計四カ所に掘削刃を装着するとともに、先端中央部に翼径の1/5の径の開口を設けることで貫入推進力を高めており、設計支持層が軟岩層などの硬質地盤の場合や中間層が硬くかつ層厚が厚い場合でも貫入可能としている。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、単くいとしての引抜き方向の支持力についてのみを対象としており、以下の通りである。

申込者が提案する「イシジプラス工法 設計指針」および「イシジプラス工法 施工指針」に従って設計・施工された先端翼付き鋼管くいの短期荷重に対する引抜き方向の支持力を定める際に必要な地盤から定まる極限引抜き抵抗力は、同設計指針に定める標準貫入試験の結果に基づく支持力算定式で適切に評価できる。

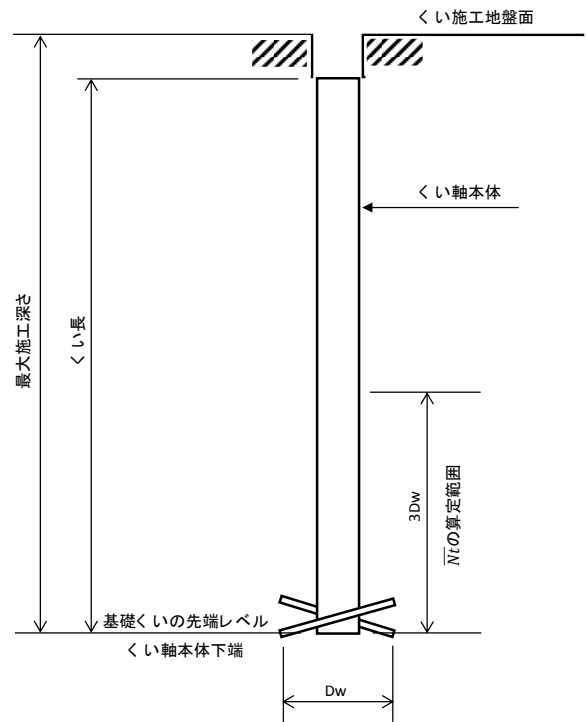


図1 基礎くいの構造

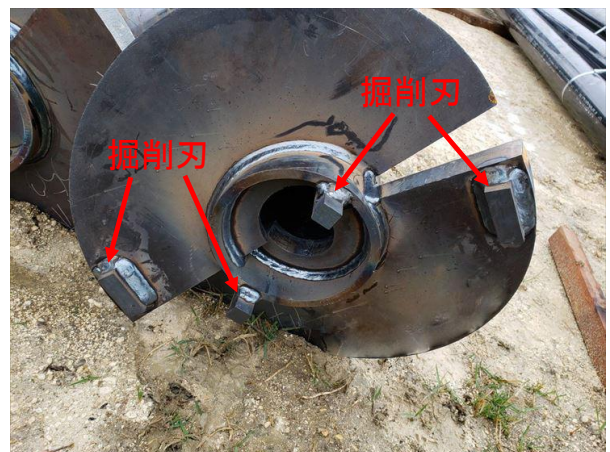


図2 くい先端部の形状

【本技術の問合せ先】

株式会社E・Eフロンティア 担当者：町田 宗史
 〒904-2234 沖縄県うるま市州崎 7-24

E-mail：munefumi.m@frontier.eartheco.co.jp
 TEL：098-923-5940 FAX：098-923-5936